

(別冊 1)

平成 29 年度
事業報告書

社会福祉
法人 松山市社会福祉協議会

も く じ

【はじめに】	1
--------	---

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業	1
(2) パソコン等情報機器管理事業	2
(3) 小口資金等償還促進事業	2

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業	3
(2) 生活支援体制整備事業[新規]	4
(3) ボランティアセンター運営事業	4
(4) 社協会員加入促進事業	7
(5) まごころ銀行運営事業	7

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業	
①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業	8
②災害見舞金支給事業	8
(2) 地区社協育成事業	
①共同募金地区社協配分事業	8
②地区社会福祉協議会連絡会運営事業	9
(3) 地域福祉活動啓発事業	
①広報啓発事業	10
②若草福祉まつり開催事業	10
③ふれあいフェスティバル（わかくさファミリーまつり）開催事業	11
④福祉サポートフェスタ開催事業	11
⑤「耳の日」のつどい開催事業	11
⑥北条社会福祉センターまつり（文化の森福祉まつり）開催事業	12
⑦春夏秋冬（しき）笑顔まつりやま福祉五七五事業	12
⑧福祉のつどい開催事業	12
(4) 地域交流支援事業	
①地域交流サロン運営事業	13
②道後温泉浴衣活用事業	13
③福祉団体助成事業	13
④地域交流助成事業[新規]	13

- (5) 見守り支援事業
 - ①安心カードみまもり支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
 - ②認知症高齢者SOSネットワーク事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

4 相談支援事業

- (1) 生活困窮者自立相談支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- (2) 障がい者総合相談窓口事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
- (3) 福祉サービス利用援助事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- (4) 福祉資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

【公益事業】

1 センター管理・運営事業

- (1) 総合福祉センター管理・運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
- (2) 地域福祉支援システム管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
- (3) 番町福祉センター管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
- (4) 北条社会福祉センター管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
- (5) いきがい交流センターしみず管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

2 地域生活支援事業

- (1) 高齢者等支援事業
 - ①愛の一声訪問事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
 - ②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
 - ③配食サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
 - ④福祉機器貸出事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
 - ⑤中高年出会いイベント事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
 - ⑥小地域防災ネットワーク構築事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
- (2) 介護予防促進事業
 - ①離島介護サービス対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
 - ②ふれあい・いきいきサロン活動支援事業[新規]・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
 - ③松山健康づくり体操教室事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
 - ④まつやまシニアカレッジ事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
- (3) 聴覚総合支援事業
 - ①聴覚総合相談事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
 - ②手話通訳者設置事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
 - ③意思疎通支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
 - ④意思疎通支援者養成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
 - ⑤聴覚障がい者等生活訓練事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

- ①要介護認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ②生活保護受給者身体状況訪問調査事業・・・・・・・・・・ 27
- ③住所地特例認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ④障害支援区分認定調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

(2) 社会福祉施設等支援事業

- ①介護サービス事業者調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ②ケアプラン評価等事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- ③介護相談員派遣事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- ④まつやまケアサポステーション事業・・・・・・・・・・ 29

4 権利擁護センター事業

- (1) 権利擁護センター運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- (2) 法人成年後見事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- (3) 市民後見推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

- ①福祉大会開催事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
- ②ボランティア養成講座事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
- ③コミュニケーションスキルアップ講座事業[新規] ・・ 31

【はじめに】

少子・高齢化の急速な進行や地域コミュニティの崩壊等、地域住民を取り巻く生活環境が大きく変化する中、介護保険法の改正や生活困窮者自立支援法、障害者差別解消法の施行、そして改正社会福祉法に伴う社会福祉法人制度改革など、様々な法整備が進められる一方、医療・福祉・介護・地域住民による支援等が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が重要な課題となっております。

こうした中、松山市社会福祉協議会では「平成 29 年度事業計画」に基づき、地域福祉活動の要となる地区社協への活動支援や医療分野をはじめとする関係機関・団体、民間企業等との連携・協働を図りつつ、松山市より「ふれあい・いきいきサロン活動支援事業」や「生活支援体制整備事業」を新たに受託するなど、高齢者や障がい者等要援護者の支援体制の更なる充実に努めて参りました。

また、本会の特性である公平性・中立性を最大限に活かした要介護認定訪問調査事業をはじめとする各種事業の適正な実施やイベントを通じた広報啓発活動の強化に努めるなど、行政や医療分野、民間企業等との連携・協働を図りながら社会福祉協議会への理解者の拡大と使命である地域福祉の推進に積極的に取り組みました。

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業

【市補助事業】

理事会・評議員会の開催や本所及び支所の運営全般を行い、適正な法人運営や大学・教育機関等と連携した福祉人材の育成に取り組むとともに、平成 29 年 4 月から施行された社会福祉法の改正に伴い、定款の変更等関連する各種手続きを行うなど、適正な法人運営に努めた。

ア. 理事会の開催

開催日	出席者数	議案
平成 29 年 6 月 9 日	13 名	定款の一部変更について 平成 28 年度事業報告について 平成 28 年度収支決算について 平成 29 年第 2 回評議員会の開催について
平成 29 年 6 月 30 日	13 名	会長・副会長・常務理事の選定について 名誉会長について
平成 30 年 3 月 22 日	14 名	平成 29 年度資金収支補正予算について 平成 30 年度事業計画について 平成 30 年度資金収支予算について 市総合福祉センターの管理運営に関する年度協定について 給与規程の一部改正について 平成 30 年第 1 回評議員会の開催について
平成 30 年 3 月 30 日	15 名	常務理事の選定について

イ. 評議員会の開催

開催日	出席者数	議案
平成 29 年 6 月 30 日	22 名	定款の一部変更について 平成 28 年度事業報告について 平成 28 年度収支決算について 役員を選任について
平成 30 年 3 月 28 日	18 名	平成 29 年度資金収支補正予算について 平成 30 年度事業計画について 平成 30 年度資金収支予算について 市総合福祉センターの管理運営に関する年度協定について 役員を選任について

ウ. 実習生の受入等

学校数	人数	実習内容
4校	57名	相談援助実習や臨地実習等

エ. 自然災害に伴う被災地支援活動

・支援活動（街頭募金等）

実施日	参加人数	活動状況	募金総額
平成29年4月16日～ (平成28年4月29日から実施)	321名 (延1,929名)	街頭募金活動 6回 (延27回)	1,077,241円 (延5,974,123円)

・自然災害に伴う被災地支援寄付金配分委員会の開催

開催日	出席者数	審議事項等	配分先（金額）
平成29年7月12日	7名	<ul style="list-style-type: none"> 第4回寄付金の配分等について 今後の被災地支援について 	岩泉町社会福祉協議会（岩手県） 配分金：185,906円 大津町社会福祉協議会（熊本県） 配分金：300,000円 朝倉市社会福祉協議会（福岡県） 配分金：594,205円 東峰村社会福祉協議会（福岡県） 配分金：350,000円 日田市社会福祉協議会（大分県） 配分金：350,000円

(2) パソコン等情報機器管理事業

【自主事業】

事務事業の効率化及び情報の共有化を図るため、パソコン等の情報機器を整備するとともに、情報機器等の安全な運用管理に努めた。

設置台数	81台
------	-----

(3) 小口資金等償還促進事業

【自主事業】

母子家庭等小口資金貸付事業（平成19年度終了）及び低所得者小口資金貸付事業（平成20年度終了）の貸付金未償還金について、訪問調査や償還指導により回収を行った。

資金名称	償還件数	償還金額
低所得者小口資金	22件	67,000円
母子家庭等小口資金	0件	0円
合計	22件	67,000円

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業

【市補助事業】

地区社協を実施機関とし、住民参加のたすけあい（自助・互助）の精神を基調とした預託点数制による住民参加型在宅福祉サービスの提供をはじめ、福祉学習、地区福祉だより発行による福祉教育や啓発活動を行う等、地域福祉活動の推進を図った。

ア. 会員数・活動状況等

・協力会員数

男	女	合計
347 名	1,865 名	2,212 名

・活動状況

延派遣回数	延派遣時間数	延預託点数	サービス内容
6,025 回	12,258.5 時間	24,517 点	ゴミ出し、話し相手、サロン活動の支援、地区社協事業の手伝い等

イ. 地区社協活動推進事業

助成内容	助成地区	助成総額	備考
福祉学習事業助成	39 地区	3,000,000 円	80,000 円を限度（延べ実施回数 157 回）
活動計画策定助成	2 地区	20,000 円	地域福祉活動計画策定にあたり 10,000 円を限度
地区社協チャレンジ事業	5 地区	345,000 円	開始から 3 年目まで 100,000 円 その後 3 年間 50,000 円を上限 *ただし、総事業費の 1/2 を限度

ウ. 諸会議の開催

会議名	内容等
地区社協会長・事務局長連絡会	開催日 平成 29 年 4 月 18 日 会場 市総合福祉センター 5 階 中会議室 出席者数 75 名（地区社協会長・事務局長 外） 報告事項 (1)松山市地区社会福祉協議会連絡会活動状況について (2)地域福祉サービス事業活動状況について (3)ふれあい・いきいきサロン事業活動状況について 説明事項 (1)地区社協関連事業実施計画について (2)提出書類について (3)地域福祉活動計画策定進捗状況について

エ. 地区別活動状況及び経理状況調査

実施地区	市内地区社協（40 地区）
調査期間	平成 29 年 4 月 ～ 6 月
内 容	各地区を訪問し、会長、関係役員等からの活動状況の聞き取りや一般会計及び特別会計の経理に関する調査を実施

オ. 地区社協だよりの発行

実施地区	発行回数	内 容
39 地区	66 回	地区内各世帯への配布による、地区社協活動等の周知・啓発（年 1 ～ 4 回発行）

(2) 生活支援体制整備事業

【新規事業・市受託事業】

高齢者が健康で生きがいを持って暮らすことができるよう、地域で支え合う社会の基盤づくりを進めるため「生活支援コーディネーター」を配置し、地域のニーズや資源の把握、地区社協や地区民協をはじめとする関係者間のネットワークの構築、ニーズと取組みのマッチング等の推進に努めた。

ア. 関係機関とのネットワーク構築

項目	内容
第1層協議体 (市全域)	開催日：平成30年1月25日 会場：市総合福祉センター 1階 会議室 参加団体：8団体（8名）
第2層A協議体 (地区社連9ブロック)	○ブロック会議（地区社連ブロック会議と併催） 開催回数 10回(平成29年10月18日～平成30年3月15日) 会場 市総合福祉センター、公民館等 参加者数 延169名
	○ブロック研修会（地区社連ブロック研修会と併催） 開催回数 9回(平成29年11月22日～平成30年3月15日) 会場 市総合福祉センター、公民館等 参加者数 延385名

イ. 地域資源把握

項目	内容
地域カルテを活用した地域資源の把握及び資料化	各地区の地域情報等を集約した「地域カルテ」の発行に向け、第2層A協議体内で地域関係者とともに、原案の作成に取り組んだ

ウ. 地域支援体制構築

項目	内容
地域福祉サービス事業の機能充実に向けた取組	事業の理解促進を図るため、地区研修会等で事業の周知に取り組んだ

エ. 生活支援の担い手養成

項目	内容
地域住民や関係者を対象とした研修会等の実施	地域福祉活動推進講演会（年1回）、地域福祉リーダー養成講座（年1回）などの研修会に参加し育成に取り組んだ

(3) ボランティアセンター運営事業

【市補助事業】

ボランティアの育成援助、コーディネート機能の充実、ボランティア団体・関係機関との連携・協働に努め、ボランティア活動の振興・拡大を図った。

ア. 運営

・運営委員会の開催

開催日	出席者数	協議事項
平成29年7月14日	6名	・委員長・副委員長の選任について ・平成29年度事業進捗状況報告について ・平成30年度事業計画について 外
平成30年3月19日	8名	・平成29年度事業進捗状況報告について ・平成30年度事業計画について 外

- ・松山市ボランティア連絡協議会への運営協力等

ボランティア活動の推進に向け、ボランティアグループ相互の連携と協働及び情報交換等を図る松山市ボランティア連絡協議会の運営協力や事業助成を行った。

イ. ボランティアコーディネート

ボランティア活動に関する相談・連絡調整・登録を行い、ボランティア活動の推進を図った。

- ・登録数及び相談件数

団 体	515 団体・31,905 名 (新規：27 団体・581 名)
個 人	2,616 名 (新規：113 名)
電話・来所相談	延 5,796 件

- ・福祉体験学習事業

市内の小・中学校及び高等学校の児童・生徒や団体等を対象に、ボランティア活動に関する学習の機会を提供することによって、活動の推進及び福祉観の醸成を図った。

項 目	学校数等	延件数	延参加者数	内 容
小 学 校	42 校	70 件	6,787 名	ボランティア活動に関する体験学習 ・技術学習（手話、点字、車いす等） ・フィールドワーク ・障がい者との交流学習等
中 学 校	9 校	11 件	1,310 名	
そ の 他	20 団体	47 件	1,583 名	
合 計	51 校・20 団体	128 件	9,680 名	

- ・各関係機関のボランティア関係事業協力等

関係機関・団体が実施する各種イベントにボランティア及び職員を派遣することにより、円滑な事業運営に協力を行った。

イベント名	主催団体	活動者数
第 32 回トライアスロン中島大会	松山市・トライアスロン中島大会 実行委員会	98 名
平成 29 年度 松山市障がい者ふれあいスポーツ大会	松山市障がい者団体連絡協議会	126 名
第 52 回松山まつり 野球拳おどり「じっとしと連」	松山市障がい者団体連絡協議会	11 名
愛媛県総合防災訓練	愛媛県防災会議及び中予圏域各市町防災 会議	62 名
第 19 回ふれあいの祭典	松山市障がい者団体連絡協議会	21 名
障がい者へのおもてなし向上講習会	日本旅館協会愛媛県支部	42 名
その他	まつやまNPOサポートセンター運営協議会 外 24 団体	35 名
合計	延 28 団体・30 事業	333 名

ウ. 情報収集・提供

関係機関・団体等からの各種ボランティア情報の収集に努めるとともに、情報紙や携帯電話等を活用しタイムリーな情報提供を行った。

項目	内容等	
「おせたい通信」の発行	発行回数	年 12 回
	発行部数	4,400 部
	配布先	ボランティアグループ、個人ボランティア、福祉関係団体、市関係機関、民生児童委員協議会、各大学、企業等 850 ヶ所
メールマガジン	登録者数	1,229 名（新規：15 名）
携帯電話ボランティア情報システムによる情報提供	登録者数	1,225 名（新規：26 名）
	送信回数	22 回
バリアフリー情報の提供	公開施設数	1,183 施設
ホームページ	アクセス数	4,268 件
民間助成事業の情報収集・提供	情報提供数	33 件（相談件数：24 件）

エ. ボランティアの学習支援

講座名	開催日 / 会場 / 講師	回数	延参加者数
傾聴ボランティア養成講座	開催期間：平成 29 年 7 月 6 日 ~ 8 月 3 日 会場：市総合福祉センター 講師：福本 由美氏（脳活性サポート会社 gift 代表）	5 回	219 名
災害ボランティア養成講座	開催期間：平成 30 年 1 月 20 日 ~ 27 日 会場：市総合福祉センター 講師：小原 友弘氏（松山市危機管理課災害対策指導監） 二神 透氏（愛媛大学防災情報研究センター副センター長）等	2 回	47 名
ボラカフェ	開催期間：平成 30 年 1 月 27 日 ~ 3 月 17 日 会場：市総合福祉センター 内容：コミュニケーション技術や災害ボランティア等について	3 回	71 名
若年層ボランティアリーダー養成研修	開催日：平成 30 年 2 月 25 日 会場：市総合福祉センター 講師：山本 清文氏（あかがねミュージアムプロジェクトマネージャー） 大久保 守登氏（サブ講師）	1 回	31 名
夏休み！親子ボランティア体験講座	開催日：平成 29 年 7 月 27 日 ~ 8 月 4 日 会場：市総合福祉センター 内容：ガイドヘルプ体験・盲導犬、車いす操作・介助体験、手話体験 講師：高橋信行氏（県立松山盲学校教諭） 地域包括支援センター城西・勝山手話学習会火曜会	3 回	40 組 91 名
災害ボランティアフォローアップ研修会	開催日：平成 30 年 3 月 17 日 会場：市総合福祉センター アドバイザー 澤上 幸子氏（えひめ 311 副代表理事兼事務局長） 近藤 朋也氏（県社会福祉協議会主事）	1 回	17 名

オ. 第 56 回愛媛マラソン直前清掃ボランティア活動

コース沿道の清掃ボランティア活動を通じて、実践機会の提供とボランティア相互の交流促進を図るとともに、企業の参加・協力を促進するなど福祉活動や社会貢献活動の拡大に努めた。

日 時	平成30年 2 月 3 日 10 : 00 ~ 11 : 00
コ ー ス	市内中心部コース沿道 *拠点を 2ヶ所設置し、6 コースに分かれての清掃活動
参 加 者	157名

(4) 社協会員加入促進事業

【自主事業】

市社協への理解と支援の拡充及び安定した財源を確保するため会員の加入促進に努めるとともに、希望する会員（企業等）に対してはホームページや掲示板等に名称を掲載し紹介を行った。

ア. 加入状況

会員種別	会員数	口 数	金 額
個人会員（個人）	2,007 名	2,512 口	2,511,500 円
特別会員（団体）	227 団体	464 口	2,182,740 円
賛助会員（企業）	118 社	149 口	1,490,000 円
合 計	—	—	6,184,240 円

イ. 会員紹介状況

対象	紹介方法	会員数
全会員	市社協ホームページ等への名称掲載	58 名・96 団体・110 社
賛助会員 2 口以上の特別会員	①市社協ホームページとのリンク設定 ②市総合福祉センター内パンフレットコーナーの活用	7 団体・110 社

(5) まごころ銀行運営事業

【自主事業】

地域福祉活動の推進を図るため市民から善意の寄付を受け入れするとともに、物品については寄付者の意志に基づき社会福祉施設等へ払い出しを行った。

ア. 受入状況等

種別	受入	件数	受入・払出先
金銭	3,303,191 円	42 件	市社協
物品	りんご	1 件	児童福祉施設 4ヶ所
	車いす	1 件	市社協
	その他の物品	3 件	市社協

*えひめ中央農業協同組合 --- 16 商品の売り上げの一部を寄付 (49,734 円)

イ. 交通災害遺児見舞金

各地区で民生委員・児童委員が18歳以下の交通・災害遺児の実態把握を行い、寄付者の意思に基づき見舞金を配布した。

項 目	内 容 等
申 請 者 数	45 名
見舞金総額	675,000 円 (15,000 円 / 1 名)

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業

【自主事業】

①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業

地区から申請のあった65歳以上の在宅ねたきり高齢者及び認知症高齢者に対し見舞金を配布することにより、ねたきりの高齢者等への激励とともに、介護者の相談・支援や実態把握を行った。

項 目	内 容 等
申 請 者 数	186 名
見舞金総額	558,000 円 (3,000 円 / 1 名)

②災害見舞金支給事業

不慮の災害による家屋の全焼・全壊、死亡、行方不明の被災者及び遺族に見舞金を配布することにより、応急的な生活費の援助と福祉の増進に寄与した。

内 容	件 数	支給総額
住宅火災等	14 件	280,000 円 (20,000 円 / 1 世帯)
死亡弔慰金	4 件	80,000 円 (20,000 円 / 1 名)
合 計	18 件	360,000 円

(2) 地区社協育成事業

【自主事業】

①共同募金地区社協配分事業

地域福祉の推進を図るため、各地区社協の事業計画に基づき共同募金配分金を助成した。

助 成 先	助 成 額
市内全地区社協 (40 地区)	35,967,601 円

②地区社会福祉協議会連絡会運営事業

市社協と地区社協の連絡調整機能を強化し、各地区社協相互の情報交換及び連携・協働を促進するとともに、平成 29 年度から新たにはじまった生活支援体制整備事業と連動した事業展開を行う中で、市社協及び地区社協の事業・活動の更なる活性化を図った。

ア. 研修会

研修会名	開催日 / 会場 / 内容	参加者等
地区社連会長・ 事務局長連絡会	開催日：平成 29 年 4 月 18 日 会場：市総合福祉センター 演題：「これからの社協の展望」 講師：中谷 陽明氏（松山大学人文学部社会学科教授）	会長・事務局長 75 名
地域福祉リーダー養成 講座	開催日：平成 29 年 9 月 29 日 会場：市総合福祉センター 演題：「地域カルテ作成の意義と方法」 講師：恒吉 和徳氏（聖カタリナ大学人間健康福祉学部教授）	援護部長・ 啓発調査部長 75 名
地区社連会長・事務局 長連絡会〔研修会〕& 〔情報交換会〕	開催日：平成 30 年 1 月 25 日 会場：東京第一ホテル松山 演題：「これからの地域の支えあいの形」 講師：恒吉 和徳氏（聖カタリナ大学人間健康福祉学部教授）	会長・事務局長等 85 名

イ. ブロック会議

項目	内容等
開催回数	10 回（平成 29 年 10 月 18 日 ～ 平成 30 年 3 月 15 日） *各ブロック 1 回開催（第 6 ブロック 2 回開催）
会場	市総合福祉センター、市北条社会福祉センター、公民館等
参加者数	169 名（延参加者数）
内容	説明事項 (1) 松山市生活支援体制整備事業および協議体について (2) 第 4 期松山市地域福祉計画および地域福祉活動推進計画の策定について 協議事項 (1) ブロック研修会の開催について

ウ. ブロック研修会

項目	内容等
開催回数	9 回（平成 29 年 11 月 22 日 ～ 平成 30 年 3 月 15 日） *各ブロック 1 回開催
会場	市総合福祉センター、市北条社会福祉センター、公民館等
参加者数	385 名（延参加者数）
内容	[グループワーク] テーマ：知ることでもっと好きになるわたしの地域 ～ 地区の良いところ、もっと良くなる場所 ～ 講師：釜野 鉄平氏（聖カタリナ大学人間健康福祉学部准教授） 村岡 則子氏（聖カタリナ大学人間健康福祉学部准教授） *地区ごとに分かれ、自分の住む地域内の社会資源や地域情報、魅力等を話し合うグループワークを実施

エ. 視察交流研修対応

受入団体	受入人数	対応内容
3 団体 (高知市地区社連、萩市大井地区民協、出雲地域地区社協)	65 名	清水地区及び小野地区の地域福祉活動の取り組みについて、松山市の地区社協の取り組みについて等

(3) 地域福祉活動啓発事業

【自主事業】

① 広報啓発事業

広く市民に市社協の啓発を図るため、社協だよりの発行や各種イベントへの参加のほか、フェイスブックを活用した広報活動等を通して市社協及び事業の紹介を行った。

項目	内容等
社協だよりの発行	年 2 回 (約 243,000 部 / 1 回)
ラジオでのイベント・事業等紹介	年 4 回 (南海放送「みんなの松山」)
横断幕の掲揚	市総合福祉センター壁面への掲揚 市社協・民協・共同募金運動・日本赤十字社啓発用
オリジナルクッキーの作成	3,000 個 (共同募金運動・若草福祉まつり等で配布)
木製クリップの作成 (ハートフルプラザ松山の商品)	1,350 個 (共同募金運動・募金協力者等へ配布)
へこまんピンズの作成 (市社協イメージキャラクター×共同募金)	1,000 個 (共同募金運動・ガチャポン等)
イベントへの参加協力	(1) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 えひめ 9月2日・3日 職員参加 92名 (2) 暮らしの相談会 in 太陽市 5月27日・28日 職員参加 21名 (3) みんなの生活展 10月14日・15日 職員参加 16名
ホームページの運営	(1) 松山市社会福祉協議会 (127,155 件) (2) 松山市ボランティアセンター (14,271 件) (3) いきがい交流センターしみず (1,022 件) (4) まつやまバリアフリーマップ (4,268 件)

② 若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2017」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。

* 総合福祉センター管理・運営事業 (P18) に再掲

③ふれあいフェスティバル（わかくさファミリーまつり）開催事業

子どもの日にちなんだイベントを協賛企業（社協会員：3社）や関係団体（4団体）と連携して開催し、子どもたちが楽しめる体験コーナーや昔懐かしの駄菓子屋コーナー等を通じ、世代間の交流や子どもたちの健やかな育成を図るとともに、市社協事業の啓発や理解者の拡大に努めた。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 29 年 5 月 3 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 ロビー・大会議室
参加者数	約 1,200 名
内 容	○催し物コーナー（国体えがお体操、県警音楽隊の演奏等） ○体験コーナー（こいのぼり作成、みきゃん缶バッジ、木工細工作等） ○あそびコーナー（バスケットビンゴ、ビッグ黒ひげ危機一髪） ○販売コーナー（駄菓子屋、中島産直販売、食べ物販売等）

④福祉サポートフェスタ開催事業

子どもから高齢者までの世代間交流やふれあいを通じて学習の場や福祉の情報提供を行い、福祉力の向上に努めるとともに、企業の参加・協力（協賛企業 12 社：社協会員）を促すことで連携・協働を深め、福祉活動への理解促進と企業の社会貢献活動の拡大を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 29 年 8 月 26 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 ロビー・大会議室
参加者数	約 600 名
内 容	○協賛企業啓発コーナー（12 社） ○キャラクターショー（仮面ライダーゴースト） ○特設ステージ LIVE（俳句大会 with 坊っちゃん劇場ミュージカル「52days」） ○体験コーナー（ラフフラワーレッスン、泥団子づくり、風船工作等） ○相談コーナー（介護相談、住宅相談、年金相談、空家管理相談） ○お食事コーナー ○スタンプラリー 等

⑤「耳の日」のつどい開催事業

「耳の日」にちなんだイベントを協賛企業（社協会員等：6社）や関係団体（社協会員等：22 団体）と連携して開催し、「聞こえない・聞こえにくい」ことについての理解者や支援者の拡大を図り、障がい者福祉の増進を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 30 年 3 月 3 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 ロビー・大会議室 他
参加者数	約 1,000 名（聴覚障がいに関わる福祉関係者等）
内 容	○耳に関する講演会「聞こえと補聴器について」 講師 小川 日出夫氏（愛媛大学医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師） ○手話パフォーマンス（中途失聴者・難聴者の手話講座有志、愛媛人工内耳装用児の会「うさぎのわ」とレッスンスタジオチーズ 他） ○相談コーナー（聴力検査、補聴器、日常生活用具、ヒアリンググループ、UD トーク、携帯電話、聴覚障がい者向け旅行） ○「みみの会」・障害者団体連絡協議会等によるバザー 他

⑥北条社会福祉センターまつり（文化の森福祉まつり）開催事業

北条社会福祉センターを拠点として活動する各種団体（協賛企業 13 社・18 団体）が協働し、各種イベントやコーナーでのふれあいを通じて社会福祉協議会や福祉活動への理解促進、ボランティア活動の拡充を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 29 年 12 月 2 日
会 場	市北条社会福祉センター
参加者数	約 1,200 名
内 容	○ステージ発表（幼稚園児お遊戯、お役立ち講座&オカリナ演奏外） ○バザーコーナー ○娯楽コーナー ○作品展示コーナー ○お楽しみ抽選会 ○メッセージバルーン 等

⑦春夏秋冬（しき）笑顔まつりやま福祉五七五事業

福祉啓発活動の一環として福祉をテーマとした俳句を季節ごとに募集し、福祉への理解を深めるとともに、市総合福祉センターに掲示することで松山らしい福祉情報を発信した。

季節	会長賞 / 募集期間	投句数	入選句数
春	花屑を拭きて畳みし車椅子（東京都） 募集期間：平成 29 年 4 月 17 日 ～ 5 月 5 日	192 句	30 句
夏	相槌も介護の一つ花みかん（松山市） 募集期間：平成 29 年 6 月 1 日 ～ 8 月 3 日	272 句	30 句
秋	秋霖や母を誘ひて飛鳥乃湯（松山市） 募集期間：平成 29 年 9 月 1 日 ～ 11 月 3 日	234 句	30 句
冬	ばあちゃんと九十かぞえた年の豆（徳島県） 募集期間：平成 29 年 11 月 1 日 ～ 平成 30 年 2 月 3 日	272 句	30 句
合 計		970 句	120 句

⑧福祉のつどい開催事業（若草映画鑑賞事業と統合）

敬老の日にあわせた映画鑑賞を通じて、高齢者をはじめ親子や地域の方々がお互いに思いやる心、コミュニティづくりなどを考える「きっかけ」とするとともに、高齢者の作品展や写真展を行い、来場者が交流できる「ふれあいの場」を提供した。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 29 年 9 月 18 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 大会議室・ロビー
参加者数	約 450 名
内 容	映画 「オケ老人！」（上映時間 119 分） 上映回数 2 回（午前・午後）

(4) 地域交流支援事業

【自主事業】

①地域交流サロン運営事業

高齢者・子育て中の保護者や障がい者、地域のボランティア等が自主的に立上げた地域交流サロンに対し助成を行い、参加者相互の支え合いを助長することで不安・悩みの解消や子育てを支援するとともに、住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう地域福祉の増進を図った。

ア. 助成額

助成サロン数	助成総額	備 考
66 サロン	2,628,000 円	1 サロン：1 開催 3,000 円（15 回を限度）

イ. サロン活動状況

サロン	サロン数	実施回数	延利用者数	平均利用者数
高齢者サロン	52 サロン	894 回	14,001 人	15.7 人
子育てサロン	11 サロン	154 回	3,859 人	25.1 人
障がい者サロン	3 サロン	49 回	1,059 人	21.6 人
合 計	66 サロン	1,097 回	18,919 人	17.2 人

ウ. 子育てサロン交流会

開催日 / 会場	内容	参加者
平成 30 年 2 月 28 日 市総合福祉センター	子育て情報交換カフェ、Pre（プレ）おさがり交換会 貸出用レクリエーション機材・絵本紹介&体験会	46 名

②道後温泉浴衣活用事業

道後温泉や福祉関係団体（社協会員等：3 団体）と連携し、道後温泉本館の貸浴衣を再利用した製品の開発・製作を行い、高齢者・障がい者の就労支援や社会参加・生きがいを図るとともに、観光都市松山及び道後温泉のPRを行った。

項 目	内 容 等
松山トリコ 製 品	○おじゃみクッション 製作：10 個 ○湯玉トートバック（L サイズ・S サイズ） 製作：40 個 ○紙の湯カードケース（シングル・ダブル） 製作：450 個 ○湯あがりコースター（3 枚セット） 製作：505 個 ○湯あがりカバー 製作：340 個

③福祉団体助成事業

福祉関係団体を実施する事業に対し助成を行うことにより、団体活動を支援した。

助成団体数	助 成 額
12 団体（松山市障害者団体連絡協議会等）	660,000 円

④地域交流助成事業(旧マイクロバス運行事業)

【新規事業】

地区社協・地区民協等関係団体を実施する研修や交流活動に対し、バス等借上料の一部助成を行うことにより団体を支援し、地域福祉活動の拡大を図った。

助成団体数	助成総額	備考
45 団体	898,170 円	1 団体上限 20,000 円

(5) 見守り支援事業

【自主事業】

①安心カードみまもり支援事業

高齢者や障がい者等に対しみまもり安心カード等を配布し、在宅での救命救急活動時における高齢者等の安全・安心を確保するとともに、要援護者の実態把握を通じて、潜在的・予防的ニーズの発見、孤立予防、みまもり支援体制の充実を図った。

登録者数	活用事例
11,056名（新規：284名）	12件（累計130件：平成23年7月から） [救命救急活動時の対象者傷病程度] 軽症7件、中症4件、重症1件、不搬送0件、死亡0件

②認知症高齢者SOSネットワーク事業（通称「おまもりネット」）

携帯電話のメール機能を活用し、地域住民等（メールアドレス登録者）の協力を得て、徘徊等によって行方不明者となった高齢者の早期発見・保護に努めるとともに、協力者や高齢者の登録拡大を図った。

検索協力者数		利用高齢者数	件数
個人	1,343名（新規：118名）	323名 （新規：84名）	検索依頼 17件 メール配信 13件 （配信累計31件：平成25年度から）
企業・団体	272団体（新規：10団体）		

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉総合窓口職員を派遣し、生活困窮者からの相談に応じ、関係機関との連絡調整等を図りつつ、生活全般にわたる包括的な支援を行った。

ア. 相談件数（相談方法分類）

	来所相談	電話相談	訪問・同行	その他	合計
新規相談件数 （延件数）	552件 （1,554）	296件 （2,096）	3件 （230）	0件 （372）	851件 （4,252）

*その他は所内会議、他機関との会議、支援調整会議を含む。

イ. 支援計画

内容		件数	備考
支援計画作成検討		133件	支援調整会議 133回
支援計画決定件数		123件	1つの支援計画作成において、就労支援、生活福祉資金等の重複を含む
内訳	就労支援	77件	内就労者数 57件
	準公的サービス利用	4件	
	生活福祉資金利用	48件	
	その他	20件	住居確保給付金支給等

(2) 障がい者総合相談窓口事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉総合窓口職員を派遣し、身体・知的・精神障がい者及び障がい児の保護者または介護者からの相談並びに発達・高次脳機能障がい・難病患者等の相談に応じ、相談者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう問題解決に向けた支援・助言を行った。

ア. 相談件数（相談方法分類）

	訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	個別 支援会議	関係 機関	その他	合計
延件数	355 件	1,078 件	330 件	2,320 件	503 件	15 件	1,654 件	20 件	6,275 件

*その他は障害手帳を保持していない相談者

イ. 支援内容

()内は解決に至った件数

	福祉サービスの利用等	障がいや 病状の理解	健康・医療	不安の解消 ・情緒安定	保育・教育	家族関係・ 人間関係	家計・経済
延件数	1,851 件 (1,851)	120 件 (120)	272 件 (272)	2,150 件 (2,150)	8 件 (8)	103 件 (103)	680 件 (680)

	生活技術	就 労	社会参加・ 余暇活動	権利擁護	その他	合計
延件数	259 件 (259)	349 件 (349)	12 件 (12)	93 件 (93)	378 件 (378)	6,275 件 (6,275)

ウ. 研修会

研修会名	開催日 / 会場 / 内容	参加者等
松山市発達障がい者 就労支援研修会	開催日：平成 30 年 2 月 24 日 会場：市総合福祉センター 事業説明：障がい者地域相談支援センターについて 講演：「ADHD タイプの私と直線的思考タイプの夫との生活を通して見えたこと」 ～1人ひとりが自分自身の専門家。発達障害ではなく「特性」と捉え多様性を認め合うコミュニティ創りへ～ 講師：リーベル・りなこ氏（ADHD ライフカウンセラー）	250 名 （一般企業、地区社協・民協、医療・教育・福祉関係者等）
松山市障がい者虐待 防止等研修会	開催回数：10 回（平成 29 年 9 月 20 日～12 月 25 日） 会場：市総合福祉センター 内容：①心理的・経済的虐待 講師：高橋 宏典氏（弁護士） ②性的虐待 講師：江野尻 正明氏（弁護士） ③ネグレクト 講師：山崎 健二氏（社会福祉士） ④身体的虐待 講師：渡部 隆介氏（社会福祉士）	430 名 （市内障がい者福祉サービス事業所職員）
松山市障がい者差別 解消法研修会	開催回数：2 回（平成 30 年 2 月 5 日・16 日） 会場：市総合福祉センター テーマ：「障がい者差別解消を進めるとのこと」基本講座 講師：武田 行雄氏（障害者相談センターイニシアティブ代表）	86 名 （市内障がい者福祉サービス事業所職員）

(3) 福祉サービス利用援助事業

【県社協受託事業】

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的・精神障がい者などを対象に、生活支援員及び専門員が関係機関と連携・協働し、福祉サービス利用の相談や手続代行、日常的な金銭管理等を行い、権利擁護及び生活の質の向上を図った。

ア. 契約件数

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
件数	4件 〔新規2件〕 〔終了3件〕	20件 〔新規4件〕 〔終了3件〕	55件 〔新規11件〕 〔終了8件〕	9件 〔新規1件〕 〔終了2件〕	88件 〔新規18件〕 〔終了16件〕

*〔 〕は、平成29年度新規契約及び契約終了件数

イ. 生活支援員活動状況

生活支援員登録者数	延活動回数	延活動時間数
12名	1,690回	1,766.5時間

(4) 福祉資金貸付事業

【県社協受託事業】

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図るため、家計再建支援として他制度も含め必要な援助指導を行うとともに、生活困窮者自立相談支援事業と連携した効果的な相談支援を行った。

申請内容	相談件数	申請件数
(1)総合支援資金 ・生活支援費 ・住宅入居費(敷金・礼金) ・一時生活再建費	39件	0件 0件 0件
(2)福祉資金 ・福祉費 ・緊急小口資金	1,089件	5件 48件
(3)教育支援資金 ・教育支援費、就学支度費	215件	7件
(4)不動産担保型生活資金 ・一般世帯向け ・要保護世帯向け	104件	2件 5件
(5)その他(償還猶予申請等)	—	8件
(6)臨時特例つなぎ資金	7件	1件
合計	1,454件	76件

【 公益事業 】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業

【市受託・指定管理事業】

松山市における福祉活動の拠点施設として、福祉関係者等へ会議室の貸出や施設の維持管理を行うとともに、ボランティアグループや福祉関係団体・行政等との協働により福祉人材の育成、情報の収集・発信、高齢者や障がい者等の社会参加の促進を目指して施設の管理・運営を行った。

ア. 利用状況

延利用団体数	延利用人数	備 考	
8,653 団体	215,039 名	施設見学 有料利用	1 団体 44 名 6 件 780 名

イ. 社会福祉啓発事業（福祉講習会）の開催

行 事 名	開 催 日	参加者	内 容
地域福祉活動推進 講演会	平成 29 年 7 月 21 日	215 名	演題 「地域と行政・社協の協働による“福祉でまちづくり”」 講師 渋谷 篤男氏（全国社会福祉協議会常務理事）
まつやま優秀映画鑑賞 推進事業 （懐かしの名画劇場 2017）	平成 29 年 12 月 9 日	1,241 名	①また逢う日まで ②青い山脈 ③真昼の暗黒 ④純愛物語
手話通訳者指導者 研修会	平成 30 年 1 月 14 日	22 名	演題 「読み取り通訳の実践練習」 「医療場面の手話通訳」 講師 新中 理恵子氏（手話通訳士）
認知症に関する講演会	平成 30 年 2 月 3 日	98 名	演題 「VR 認知症体験会」 講師 黒田 麻衣子氏（株式会社シルバーウッド）

ウ. キッズカレッジ～みんなの居場所づくり～事業

ひとり親家庭や共働き家庭等であって、夏休み・冬休みの期間中、子どもだけで過ごす環境にある小学生を対象に、学習支援や異学年との交流、体験学習等を通じて、子どもの居場所づくりや保護者の不安・悩み解消の場づくりに努めた。

項 目	内 容 等	
開催回数	7 回（平成 29 年 7 月 21 日 ～ 平成 30 年 1 月 4 日）	
開催時間	9：00 ～ 17：00（8：00 から受入、18：00 まで預り）	
会 場	市総合福祉センター等	
参加者数	児童 23 名、専任スタッフ 2 名、ボランティアスタッフ延 39 名	
カリキュラム	○マイボックスづくり ○愛大ミュージアムに行こう！ ○スポーツレクリエーション ○書き初めに挑戦！ ○陶芸に挑戦！ ○テレビ局へ見学に行こう！ ○手話を楽しく学ぼう！ ○松山市防災センター見学！ 等	

エ. 若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2017」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。

開催日	平成 29 年 11 月 11 日	平成 29 年 11 月 12 日
内 容	○ボランティア団体発表会 ○余剰品販売コーナー ○飛び出す 3D 恐竜展 ○お茶席 ○携帯ホワイトボード作り ○高齢者等人権安心相談コーナー ○ペタンク体験コーナー等	○映画「SING」上映 ○飛び出す 3D 恐竜展 ○マッサージコーナー ○伊予弁による民話紹介 ○車いす体験 ○要約筆記体験 ○お楽しみ抽選会 等
	○障がい・権利擁護相談 ○食べ物・販売・お食事コーナー ○要約筆記・手話体験 ○スタンプラリー	○障がい者団体バザー ○サロン事業作品展示 ○朗読・点字を学ぼう ○各種団体による展示コーナー 等
来館者数	延 3,700 名	
広 告	57 団体・企業（広告収入：325,000 円）	
参加団体	59 団体（ボランティア・福祉団体等）	

オ. 福祉ライブラリーの貸出

高齢者や障がい者及び福祉関係者等へ福祉関係の書籍等の貸出しを行うことにより、福祉情報の提供、人材育成、地域福祉活動の推進を図った。

内 容	書 籍	点字書籍	ビデオ	カセット	DVD	合計
保 管 数	2,357 冊	187 冊	1,525 本	282 本	135 枚	4,486 点
貸出件数	48 件	1 件	89 件	0 件	30 件	168 件

カ. ロビー展等

市総合福祉センターの活性化と福祉に対する理解者の拡大を図るため、ロビー等の有効活用を図った。

実 施 内 容		実 施 期 間 等
ロビー展等	ア. パステルアート作品展(発達障害啓発週間)	平成 29 年 4 月 2 日 ～ 8 日
	イ. 母の日企画展	平成 29 年 5 月 13 日 ～ 15 日
	ウ. 父の日企画展	平成 29 年 6 月 17 日 ～ 23 日
	エ.七夕企画展	平成 29 年 7 月 7 日 ～ 8 月 7 日
	オ.福祉のつどいロビー展示	平成 29 年 9 月 17 日 ～ 26 日
	カ.赤い羽根共同募金ポスター展示	平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
	キ.赤い羽根共同募金パネル展示	平成 29 年 11 月 2 日 ～ 5 日
ク.人権啓発標語ポスター絵手紙入選作品展示	平成 29 年 12 月 4 日 ～ 8 日	

募 金 箱 の 設 置	ア. 日赤活動資金募集募金箱設置	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日
	イ. 共同募金募金箱設置	平成 29 年 10 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日
	ウ. 平成 28 年熊本地震義援金募金箱設置	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 8 月 31 日
	エ. 九州北部豪雨義援金募金箱設置	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 8 月 31 日
そ の 他	ア. ご意見箱の常設（1階・4階・5階）	平成 29 年 4 月 1 日 ～（平成 19 年 8 月 1 日設置）
	イ. 東日本大震災支援ベルマーク収集箱設置	平成 29 年 4 月 1 日 ～（平成 23 年 9 月 1 日設置）
	ウ. 市総合福祉センターのライトアップ	・ブルー（世界自閉症啓発デー） 平成 29 年 4 月 2 日 ・オレンジ（世界アルツハイマーデー） 平成 29 年 9 月 21 日

(2) 地域福祉支援システム管理運営事業

【市受託事業】

市総合福祉センターを拠点とした各種福祉活動を支援するため福祉情報を一元管理し、より有効なサービスの提供を目的として構築したシステムの維持・管理を行った。

設置台数	システム登録数		
	個人	団体	企業
37 台	53, 105 名	1, 885 団体	1, 464 社

(3) 番町福祉センター管理事業

【市補助事業】

高齢者や福祉関係者等の社会参加や福祉活動の推進を図るため、活動の場として会場を提供した。

ア. 利用状況

延利用団体数	延利用者数
276 団体	2, 001 名

(4) 北条社会福祉センター管理運営事業

【市補助事業】

北条地域の福祉活動の拠点施設として、高齢者等の福祉増進や福祉活動の推進を目指して施設の管理・運営を行った。

ア. 利用状況

延利用件数	延利用者数
2, 461 件	16, 515 名

イ. 講座等の開催

行 事 名	開催回数	延参加者数	内 容
北条文化の森 いきいき講座事業	6 回 (平成 29 年 9 月 22 日 ～平成 30 年 2 月 13 日)	144 名	目的 地域住民の健康と仲間づくり 内容 自力整体、呼吸トレーニング、ヨガ、 脳トレ体操、気功、リラックス体操
松山健康づくり 体操教室事業（北条）	40 回 (平成 29 年 5 月 17 日 ～平成 30 年 3 月 14 日)	1, 880 名	目的 運動機能の維持向上、介護予防 内容 マットやボール等を使った体 操、血圧測定、体力測定等

(5) いきがい交流センターしみず管理運営事業

【市受託事業】

小学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消と心身機能の向上を図るとともに、清水地区を中心とした住民の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び異世代交流事業等を実施し、福祉・学習コミュニティの形成と学社融合に寄与した。

ア. 地域交流事業

項目	対象	開催回数	延参加者数
友遊しみず (月・木曜日 10:00～15:00)	介護保険対象外の概ね65歳以上の方	88回	820名
交流授業	清水小学校児童	55回	5,492名
地域交流イベント (清水小ふれあいバザーへ参加)	清水小学校児童・保護者等	1回	80名
しみずサポート ボランティアの活動	大学生等	198回	580名

イ. 講座等の開催

行事名	開催回数	延参加者数	内容
いきいき 未来学講座	9回 (平成29年6月14日 ～7月26日)	94名	高齢者施設と介護サービス、財産管理と遺言、認知症、成年後見制度、終活等について8テーマ
シニア いきいき パソコン塾	15回 (平成29年10月20日 ～平成30年3月16日)	100名	パソコン操作についての基本知識、文書や年賀状等の作成、表計算、カレンダー等の作成、インターネットの活用方法やメールの送受信等

ウ. 視察対応

受入団体	受入人数	対応内容
8団体 (高知市鴨田地区民協、下関市中部地区民協、岩国市南河内地区民協等)	126名	事業概要、地区社協・小学校との協働・連携、児童と高齢者・地域住民との交流等について

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業

①愛の一声訪問事業

【市補助事業】

77歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、原則として週2回乳酸菌飲料を訪問配付し、安否の確認や不慮の事故防止及び社会的孤立の解消を図った。

実利用者数	延訪問回数	新規申請者数	安否確認件数
3,423名	260,240回	424名	348件

②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業

【市補助事業】

在宅のねたきり高齢者を対象に、利用券方式により年4回の出張理容サービスを実施(県理容生活衛生共同組合松山・古町・北支部)し、保健衛生の向上と介護者の負担の軽減を図った。

利用券交付者数	延利用者数	新規申請者数
13名	28名	3名

③配食サービス事業

【市補助事業】

在宅で食事の調理等が困難な高齢者や障がい者の世帯を対象に、利用者の心身の負担軽減及び安否確認を行うとともに、栄養バランスのとれた食事を提供（配食業者7社）することにより、高齢者や障がい者の健康増進及び福祉向上を図るため、1日1食（昼又は夕）の食事サービスを提供した。

実利用者数(3月現在)	延配食数	新規申請者数
552名	143,290食	297名

④福祉機器貸出事業

【市補助事業】

在宅で介護を受けている64歳以下の身体障害者手帳所持者を対象に、レンタル方式（レンタル業者9社）により福祉機器を貸し出し、介護者の負担と費用負担の軽減及び要援護者の自立向上を図った。

電動ベッド	車いす	床ずれ予防マット
10件	5件	3件

*平成29年度は新規申請5件、返却3件

⑤中高年出会いイベント事業（平成29年度終了）

【自主事業】

登録者の減少やイベント参加者の固定化等により事業継続が困難となったことや意向調査により登録者の大半が退会を希望したことを踏まえ、最終登録者17名に対し、本事業を終了することへの理解を求めるとともに、県下で同種の事業を大規模に展開する「えひめ結婚支援センター」への紹介及び登録を勧めた。

⑥小地域防災ネットワーク構築事業

【県社協補助事業】

第8ブロック（旧北条市地域）の地区社協等と協働し、福祉避難所として指定されている北条社会福祉センターで、避難所の開設シミュレーションを行い、災害が起こった際、的確に活動ができるよう各地区の共通認識の醸成を図った。

項目	内容等
実施地区	第8ブロック（浅海・立岩・難波・正岡・北条・河野・栗井地区）
会場	市北条社会福祉センター
協働団体	第8ブロック地区社会福祉協議会連絡会及び松山市民生児童委員協議会、松山市シルバー人材センター、地域包括支援センター北条、北条福祉施設交流会、聖カタリナ大学ボランティアセンター
検討会議	5回（平成29年8月30日より）
実施内容	開催日 平成29年11月5日 8:30～13:30 参加者 約200名 内容 福祉避難所訓練の実施 ・みかん箱を活用したベッドの作成 ・避難物資の受入れ ・要配慮者の受入れ ・テレビ・ホワイトボードを活用して災害情報・被災状況・避難物資の情報を提供 ・避難者の気分転換のためにゆげゆげ体操を実施 ・河野地区による炊き出し（カレー）の試食

(2) 介護予防促進事業

①離島介護サービス対策事業

【市受託事業】

公共交通機関の利用が不便な釣島（興居島地区）と安居島（北条地区）に在住している要介護者等に対し、健康管理・健康相談等を行うボランティア活動の支援を行った。

離 島	回 数	延利用者数	平均利用者数	実施内容
釣 島	7回	94名	13.4名	介護サービス相談、介護予防レクリエーション、健康相談・介護相談、健康体操、健康等に関する講話 等 協力：医療法人・社会福祉法人
安居島	8回	35名	4.3名	

*釣島については8月開催予定日に台風接近で中止したため1回減。

②ふれあい・いきいきサロン活動支援事業

【新規事業・市受託事業】

65歳以上の高齢者が心身機能の維持向上および介護予防を目的に、公民館や集会所等の歩いて通える拠点に月2回以上集い、介護予防メニューを行う自主的なサロン活動の支援を行った。

ア. 規模別サロン数

規 模	小規模	中規模	大規模	基幹型	合計
回 数					
月2回	44	63	4	0	111ヶ所
月3回	3	15	1	0	19ヶ所
週1回	18	19	1	0	38ヶ所
週2回	2	3	0	1	6ヶ所
週3回以上	0	0	0	1	1ヶ所
合 計	67	100	6	2	175ヶ所

イ. 活動状況

サロン活動登録者数（65歳以上）	5,486名				
延べサロン開催回数	5,818回				
延べサロン参加者数	110,512名				
<table border="1"> <tr> <td>サロン活動登録者数（65歳以上）</td> <td>(100,605名)</td> </tr> <tr> <td>サロン参加者数（64歳以下）</td> <td>(9,907名)</td> </tr> </table>	サロン活動登録者数（65歳以上）	(100,605名)	サロン参加者数（64歳以下）	(9,907名)	
サロン活動登録者数（65歳以上）	(100,605名)				
サロン参加者数（64歳以下）	(9,907名)				

ウ. してみる測定実施状況

測定メニュー	①開眼片足立ち（体力測定） ②手がかり再生（脳トレーニング測定） *①②どちらかの測定のみも可能
実施サロン数	173サロン
延べ実施者数	2,728名 (①②両方：1,929名 / ①のみ：498名 / ②のみ：301名)

エ. ふれあい・いきいきサロン研修会

内 容	開催日 / 会場	参加者等
「まつイチ週イチ体操」 体験会	開催日：平成 29 年 4 月 13 日・14 日（2 回） 会 場：市総合福祉センター	180 名
「ゆげゆげ体操」体験会	開催日：平成 29 年 6 月 30 日（2 回） 会 場：市総合福祉センター 市北条社会福祉センター	230 名
市内サロンの事例発表・ 効果測定について	開催日：平成 29 年 9 月 29 日～10 月 13 日（3 回） 会 場：市総合福祉センター、市北条社会福祉セン ター、市中島総合文化センター	279 名

オ. まちなかサロン実施状況

開催回数	96 回
延べサロン参加者数	1,811 名
65 歳以上の参加者数	(1,770 名)
64 歳以下の参加者数	(41 名)

カ. サロン農園事業

遊休農地等の活用と男性利用者の拡大を図ることを目的としたサロン農園に助成した。

サロン数	5 サロン
助 成 額	200,000 円（40,000 円限度）

キ. サロン経理調査

実施箇所	市内全サロン 243 サロン
調査期間	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 8 月 31 日

ク. 広報啓発等

啓発方法	回数等
「ふれあい・いきいきサロン通信」の発行	4 回（1 回：320 部 サロン関係者等への送付）

ケ. 活動機材の貸出

貸出機材	保有数	貸出件数
レクリエーション用具等	88 種類 229 個	226 件
プロジェクター・DVD 等	33 タイトル 94 枚	143 件

③松山健康づくり体操教室事業（若草）

【自主事業】

高齢者を対象に、運動機能の維持向上や介護予防及び日常生活における安定した生活の持続を目指し、体操教室を実施した。

項 目	内 容 等
開 催 回 数	30 回（平成 29 年 8 月 17 日 ～ 平成 30 年 3 月 12 日）
会 場	市総合福祉センター 1 階 大会議室（25 回） えひめ中央農業協同組合 5 階 大研修室（5 回）
延参加者数	1,424 名

④まつやまシニアカレッジ事業

【自主事業】

大学との協働により高齢者向けの講義カリキュラムを組み、キャンパスライフの実体験を通じて、介護予防の意識付けや知識の習得、相互交流を図った。

項目	内容等
開催回数	10回（平成29年5月19日～12月8日）
内容等	○プレ講義（自己紹介・事業説明等） ○ワークショップ（学生との交流授業） ○大学祭（余剰品バザー参加） ○校外学習・交流会（保内町）
会場・共催	聖カタリナ大学
延参加者数	445名

(3) 聴覚総合支援事業

①聴覚総合相談事業

【市受託・指定管理事業】

手話通訳や要約筆記の専門的知識と技術を持つ職員が市内に居住する聴覚障がい児者とその家族及び関係者等からの相談に応じ、聴覚障がい者等が自分に誇りを持ち一社会人として地域の中で生活していけるよう地域・社会へ働きかけを行うとともに、松山市等の関係機関と連携を取りながら総合的支援を行った。

ア. 相談対応件数（連絡調整含む）

	来所	電話・Fax	電子メール	関係機関	合計
延件数	2,225件	3,233件	1,763件	353件	7,574件

イ. 支援内容（連絡調整含む）

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
延件数	359件 (359)	18件 (18)	239件 (239)	39件 (39)	10件 (10)	116件 (116)

	家計・経済	生活技術	就 労	社会参加・余暇活動	権利擁護	手話・要約筆記関係
延件数	90件 (90)	797件 (797)	88件 (88)	361件 (361)	3件 (3)	1,469件 (1,469)

	登録通訳者	啓発活動	講演会等へ通訳者を紹介 注1	その他	合計
延件数	1,670件 (1,670)	141件 (141)	1,984件 (1,984)	190件 (190)	7,574件 (7,574)

*（ ）内は解決に至った件数。

注1 講演会等の主催者が通訳料を負担する場合に通訳者（手話・要約筆記）を紹介

紹介人数	1,119名
内 容	松山市福祉大会、人権啓発フェスティバル、県精神保健福祉大会、松山法人会、市民医学セミナー、えひめマラソン、聖カタリナ大学、愛媛大学、松山大学、愛媛障害フォーラム、市民向け防災フェスティバル、県立松山北高等学校 他

②手話通訳者設置事業

【市受託・指定管理事業】

松山市役所別館福祉総合窓口到手話通訳者を設置し、聴覚障がい者等の福祉の増進を図るため、聴覚障がい者等と各課職員の意味疎通の支援を行った。

内 容	身体 障害 者手 帳等	補 装 具 等	日 常 生 活 用 具 等	障 害 福 祉 サ ー ビ ス	介 護 保 険	生 活 保 護	医 療 保 険	年 金 手 当	就 労	教 育	住 居	税	窓 口 手 続 証 明 等	窓 口 手 続 証 明 以 外 等	相 談	そ の 他	合 計
件数	35 件	31 件	28 件	22 件	15 件	3 件	88 件	80 件	8 件	0 件	20 件	54 件	34 件	195 件	46 件	260 件	919 件

③意思疎通支援事業

【市受託・指定管理事業】

聴覚障がい者等の社会生活における意思疎通を円滑にし、社会参加を促進するため手話通訳者・要約筆記者を派遣した。

ア.登録手話通訳者・要約筆記者の派遣

内 容	個人に対する派遣										大会等派遣	合 計
	介 護 保 険	医 療	公 的 機 関	学 校	大 会 行 事	研 修 ・ 講 座	障 害 者 総 合 支 援 法	冠 婚 葬 祭	そ の 他	小 計		
件数 (名)	2,502 (2,502)	2,525 (2,525)	92 (92)	85 (85)	31 (31)	67 (67)	24 (24)	26 (26)	512 (512)	5,864 (5,864)	53 (169)	5,917 (6,033)

イ.登録手話通訳者・要約筆記者研修会の開催

項 目	内 容 等
開催回数	10回（平成29年4月24日～平成30年3月26日）
会 場	市総合福祉センター
内 容	「模擬通訳」「講演場面の通訳」「読み取りのポイント」「要約のポイント」「ストレッチ」「意見交換」「通訳実習」等
延参加者数	364名

ウ.登録通訳者の健康診断の実施

頸肩腕障害を予防することを目的として、登録手話通訳者・要約筆記者の健康診断を実施した。

項 目	内 容 等
期 日	平成30年2月6日～27日
受診者数	35名（手話通訳者14名、要約筆記者10名、手話・要約筆記者11名）

④意思疎通支援者養成事業

【市受託・指定管理事業】

ア. 養成講座の開催

聴覚障がい者等の福祉に理解と熱意のある者を対象に、手話通訳者・要約筆記者を養成するため各種講座を開催し、手話通訳や要約筆記の知識と技術の習得や倫理の指導を行った。

講座名		開催回数	修了者数
手話通訳者養成講座	基礎フォローアップ講座	午前 40 回 ・ 夜間 40 回	午前 15 名 ・ 夜間 23 名
	手話通訳Ⅰ	午前 39 回 ・ 夜間 39 回	午前 12 名 ・ 夜間 31 名
	手話通訳Ⅱ	午前 36 回 ・ 夜間 36 回	午前 6 名 ・ 夜間 15 名
	手話通訳Ⅲ	午前 16 回 ・ 夜間 16 回	午前 19 名 ・ 夜間 9 名
医療・介護従事者向け手話講座		夜間 40 回	夜間 4 名
要約筆記者養成講座		午前 45 回 ・ 夜間 45 回	午前 9 名 ・ 夜間 10 名

イ. 全国統一要約筆記者認定試験の実施

要約筆記者養成講座の修了者（見込み含む）に対し、全国統一要約筆記者認定試験を実施することにより登録通訳者の確保を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 30 年 2 月 18 日
会 場	市総合福祉センター
受験者数	9 名（内合格者 1 名）

⑤聴覚障がい者等生活訓練事業

【市受託・指定管理事業】

在宅の聴覚障がい者等に対し、日常生活に必要な知識や技術を身に付けるための訓練や指導を行うことにより、住み慣れた地域における生活能力を高め、社会参加の促進を図った。

行 事 名	開催回数	延利用者数	内 容
生活支援訪問	59 回 (平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日)	201 名	制度の情報提供や生活支援 ・本人宅にて介護相談（包括職員同行） ・松山東警察署での DV 相談 ・就労支援事業所とのトラブルの解決 等
中途失聴者・難聴者の手話講座	昼の部 40 回 夜の部 40 回 (平成 29 年 4 月 18 日 ~ 平成 30 年 3 月 6 日)	659 名	手話学習と仲間づくり ・暮らしに関する手話 ・冠婚葬祭に関する手話 等
暮らしセミナー	10 回 (平成 29 年 4 月 17 日 ~ 平成 30 年 3 月 19 日)	338 名	暮らしに役立つ内容を企画 ・終活のすすめ ・避難所における生活支援 ・心の健康 ・だまされないために ・認知症予防の体と脳の活性化 等

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

松山市及び他市町村等からの委託により、要介護及び障害支援区分の認定を受けようとする申請者を調査員が訪問面接し、心身の状況や置かれている環境等の調査（障害支援区分認定調査はサービス利用意向の聴取を含む。）を実施するとともに、医師の意見書等の送付・回収を行い、公正で適正な認定に寄与した。

調査内容	依頼件数	実施件数	完了件数
① 要介護認定訪問調査事業 【市受託事業】	29,462 件	29,155 件	29,067 件
② 生活保護受給者身体状況訪問調査事業 【市受託事業】	197 件	185 件	185 件
③ 住所地特例認定訪問調査事業 【他市町村等受託事業】	838 件	785 件	785 件
④ 障害支援区分認定調査事業 【市受託事業】	1,376 件	1,327 件	1,359 件

* 依頼・実施・完了件数の相違については、年度末申請分の調査が次年度実施となること等から発生

(2) 社会福祉施設等支援事業

① 介護サービス事業者調査事業

【市受託事業】

介護サービス事業所における介護従業者の定着化を図ることを目的に、介護サービス事業所や介護従業者が抱えている課題、実態把握等における調査や人材育成に資する研修を実施するなど、介護サービスの質の向上に努めた。

ア. 介護サービス事業所を中心に訪問等でアンケート調査（事業所の課題や職員の処遇等）

依頼対象施設	設置数	延訪問回数
通所介護	120 施設	38 回
グループホーム	121 施設	42 回
地域密着型通所介護	83 施設	18 回
認知症対応型通所介護	19 施設	4 回
小規模多機能型居宅介護	52 施設	21 回
看護小規模多機能型居宅介護	4 施設	3 回
合 計	399 施設	126 回

イ. 運営推進会議等への参加

会議等	参加回数
運営推進会議（グループホーム等の地域密着型サービス事業）	93 回
各種連絡会等	3 回
合 計	96 回

ウ. 集団・テーマ別研修の開催

研修名	開催回数	延参加者数	内 容
集団研修	7 回 (平成 29 年 11 月 17 日～ 平成 30 年 3 月 14 日)	381 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン研修（2 回） ・介護職員スキルアップ研修（3 回） ・施設長、管理者、リーダー研修 ・生活支援型訪問サービス従事者養成研修

②ケアプラン評価等事業（ケアマネジメント適正化推進事業）

【市受託事業】

ケアプラン評価等事業をより効率的・効果的な事業とするため、「ケアマネジメント適正化推進事業」の検証結果を踏まえ、新たに検討委員に医療・看護の専門職と理学療法士を加え、事例提供者及び提出プランに位置付けた個別サービス援助計画の作成者と検討委員が協議しながら、事例提供者の経験年数に考慮した助言を行うなど、ケアプラン作成能力の向上を図った。

項目	内容等
開催回数	10回（平成29年6月23日～平成30年3月22日）
検討委員	4名（主任介護支援専門員2名、医療・看護の視点を有する介護支援専門員有資格者1名、リハビリの視点を有する委員1名） *司会者1名（主任介護支援専門員）
評価対象ケース	20ケース（居宅介護支援事業所） *松山市地域包括支援センターから推薦を受けた事業所に依頼
主な検証内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のアセスメントによる正確な生活状況の把握と記載方法 ・インフォーマルサービスも含めた個別性のある自立支援に向けたケアプラン作成 ・利用者の思いを反映した具体的な目標設定 ・病状悪化や疾病予防のための生活改善に向けた支援や医療との連携方法 ・利用者へのサービス事業所選択時における情報の提示や事業者への説明の徹底等

③介護相談員派遣事業

【市受託事業】

施設や居宅等介護サービスが提供されている場へ介護相談員を派遣し、利用者の日常的な不平、不満、疑問等の相談に応じ、利用者の生活の観察やサービス提供事業所におけるサービスの実態を把握し、問題の発見や提起、解決策の提案等を通じて、苦情を未然に防ぎ、介護サービスの質的向上を図った。また、介護相談員が活動を行うに当たり必要な知識・技術を習得するための養成研修を開催するなど介護相談員の資質向上を図った。

ア.実施状況

施設数	訪問回数	延派遣相談員数	相談件数
7施設（新規6施設含む）	63回	126名	158件

イ.現任介護相談員研修（中級）への参加

開催日等	内容等
開催日 平成29年10月13日 会場 県総合社会福祉会館 主催 愛媛県社会福祉協議会 参加者 6名（介護相談員）	行政説明 「介護保険制度と介護相談員の役割」 講義 「認知症の正しい理解」 活動事例 「西条市の介護相談員活動について」「介護相談員活動への不安と期待」「相談員の受入れとサービスの質の向上について」 報告 演習 「コミュニケーション技法とトレーニング」

ウ.介護相談員養成研修の開催

開催日等	内容等
開催日 平成29年9月28日 会場 市総合福祉センター 受講者 11名	講義 介護保険制度について、介護相談員の意義と役割、利用者の権利擁護と成年後見制度等 講師 介護保険課及び松山市社会福祉協議会職員
開催日 平成29年10月5日 会場 市ハーモニープラザ 受講者 10名	講義 高齢者に対する理解、認知症に対する理解、虐待・身体拘束への対応、コミュニケーション技法と演習、記録・報告の意義・文書の書き方等 講師 米子 香苗氏（株式会社Para ti 代表）

④まつやまケアサポステーション事業

【自主事業】

居宅介護支援事業所の介護支援専門員（ケアマネジャー）を対象に気軽に話し合える場を提供し、日頃抱える悩み事の解消や情報の共有、新たな知識の習得等、ケアマネジャーの資質向上を図った。

項目	内容等
開催回数	6回（平成29年7月10日～平成30年2月9日）
会場	市総合福祉センター 5階 中会議室 他
延参加者数	86名
内容	課題の抽出及び協議、ケアプラン事例検討、総合事業・倫理的葛藤について協議、個別相談など 進行 福本 由美氏（脳活性サポート企業 gift 代表） アドバイザー 介護保険課職員

4 権利擁護センター事業

(1) 権利擁護センター運営事業

【市受託事業】

認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、状態に応じた包括的な相談・支援を実施し、各関係機関との連携により、地域生活を支える権利擁護支援体制の強化に努めた。

ア. 主な活動

内容	相談件数
成年後見利用支援業務（専門相談、申立支援）	418件
成年後見活動支援業務（後見人サポート、啓発・研修）	57件

イ. 専門職無料相談会の開催

項目	開催回数	相談件数
弁護士相談	12回	27件
司法書士相談	12回	27件
行政書士相談	12回	13件

ウ. 普及・啓発活動

内容	延回数	延参加人数
イベント参加	21回	1,777名
研修会	3回	43名

エ. 講座・研修会の開催

講座名	開催日 / 会場	参加者数	内容
権利擁護市民セミナー	平成29年7月1日 市総合福祉センター	120名	講義 「住み慣れた地域で暮らしたい」 ～自分・家族を守る 遺言・相続の いろは～ 講師 森本 明宏氏（四季法律事務所）
成年後見制度実務者研修	平成30年2月17日 市総合福祉センター	102名	講義 「孤立を地域からなくすための実践」 ～身寄りがいない方への支援～ 講師 射場 和子氏（ひめはな法律事務所）

(2) 法人成年後見事業

【自主事業】

認知症・障がい等によって判断能力が不十分な方を対象に、法的に権限が与えられた代理人（成年後見人等）として財産管理や身上監護を行い、権利擁護及び生活の質の向上を図った。

ア. 受任件数

	被後見人数				合 計
	市長	親族	本人	職権	
後 見	12件 (開始1件) (終了1件)	2件 (終了1件)	1件	1件	16件 (開始1件) (終了2件)
保 佐	—	—	1件	—	1件
補 助	—	—	—	—	0件
合 計	12件 (開始1件) (終了1件)	2件 (終了1件)	2件	1件	17件 (開始1件) (終了2件)

* () は、平成 29 年度新規受任及び終了件数

イ. 法人成年後見事業支援員活動状況

生活支援員登録者数	延活動回数	延活動時間数
6名	103回	248.5時間

(3) 市民後見推進事業

【市受託事業】

住民参加による市民後見活動を推進することにより、認知症高齢者や障がい者の権利擁護に寄与することを目的に、市民後見人の養成を行った。

ア. 研修会等の開催

講座名	開催日 / 会場 / 講師	回数	延参加者数
市民後見人養成講座修了者 ステップアップ研修会	開催期間：平成 30 年 1 月 11 日～3 月 8 日 会 場：市総合福祉センター 講 義：相談対応について、認知症の方とのコミュニケーション、年金制度について、相続について（成年後見人業務における）、任意後見人の業務について、事例検討（成年後見業務における）等	6回	61名
市民後見人養成講座修了者 対象フォローアップ研修会	開催期間：平成 30 年 2 月 5 日・16 日 会 場：市総合福祉センター 内 容：法律改正について～個人情報保護法・成年後見利用促進法等～グループワーク等 講 師：山崎 元昭氏（リーガルサポートえひめ支部）	2回	55名

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

①福祉大会開催事業

【市受託事業】

福祉関係者を対象に福祉大会を開催し、多年にわたり福祉活動に功績のあった方々を表彰するとともに、関係者の相互理解と連携促進を図った。

項目	内容等
大会名	平成 29 年度 松山市福祉大会
開催日	平成 29 年 9 月 8 日
会場	松山市民会館 大ホール
参加者数	約 1,600 名（福祉関係者）
内容	○表彰 164 名・45 団体 ○講演 演題：トーク&朗読ライブ「つながる命 つたえる言葉」 講師：坊っちゃん劇場

②ボランティア養成講座事業

【市受託・指定管理事業】

広く市民に対して点字や手話、朗読等各種ボランティア養成講座を開催し、障がい者の理解やボランティア活動への参加促進を図った。

講座名	開催回数	参加者数（修了者数）
点字	初級 20 回 ・ 中級 20 回	初級 9 名（6 名） ・ 中級 6 名（6 名）
手話（午前）	入門 18 回 ・ 基礎 22 回	入門 27 名（23 名） ・ 基礎 25 名（20 名）
手話（夜間）	入門 18 回 ・ 基礎 22 回	入門 33 名（26 名） ・ 基礎 25 名（16 名）
朗読	初級 12 回 ・ 中級 13 回	初級 22 名（20 名） ・ 中級 17 名（12 名）

③コミュニケーションスキルアップ講座事業

【新規事業・自主事業】

コミュニケーションのスキルアップに興味のある方を対象に、傾聴や心理学によるコミュニケーション技法の学びの場を提供し、地域で活動できるキーパーソンの育成を図った。

項目	内容等
開催回数	20 回（平成 29 年 10 月 4 日～平成 30 年 3 月 16 日）
会場	市総合福祉センター
講師	福本 由美氏（脳活性サポート会社 gift 代表）
参加者数	44 名（修了者：35 名）
内容	傾聴講座（10 回） ・ 心理学講座（10 回）